FLICKER-Ⅲ　取扱説明書

Electric Sound Products
Custom Lab

基本仕様

ユニット本体：プリハードン・スティールHPM2

ブロック：ジュラルミンA2017

サドル：ブラス

弦ピッチ：10.8mm

付属品

トレモロアーム（φ5）

スプリングハンガー

ハンガービス×2

トレモロスプリング×3

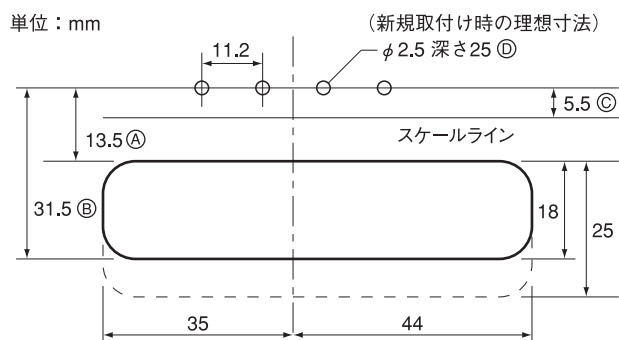
ユニット取付けビス×4（φ3.5 タッピング、長さ30㎜）

フェルトパッチ×4

6角レンチ 1.5mm

6角レンチ 2.5mm

ESP FLICKER-Ⅲは、独自のヒンジ構造によるなめらかな回転運動を可動部に取り入れた高性能トレモロユニットです。トラディショナルタイプ･トレモロユニットから無改造で交換可能です。メーカーによっては、多少の寸法差があり、該当しない機種もあります。その他のユニットからの交換は基本的に改造を要しますので御注意下さい。その際の取付は、お求めになられた販売店もしくは、お近くのリペアショップにご相談下さい。

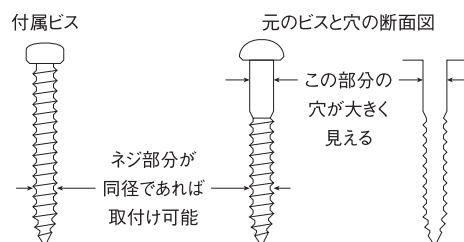
標準的なキャビティー・レイアウト

● Ⓐは12.5～15.5まで対応します。ただしⒷが31.5以下だとダウン幅が小さくなります。

● Ⓒは4.5～7の範囲にあれば、正常なオクターブ調整が可能です。

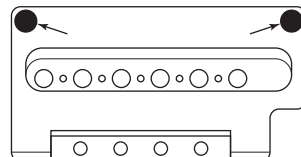
● Ⓓはボディが硬材（ハードメイプル等）の場合、下穴はφ2.7～2.8が適正です。

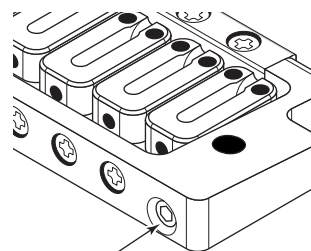
交換時の注意事項

交換そのものは元のビス穴に付属のビスでユニットを組みつける非常にシンプルなものですが、以下の点に注意して下さい。

●元のビスと付属のビスが同径である場合、トラディショナル・トレモロは基本的に下図のような木ネジが使用されているため、ネジ穴が大きく見えますが、奥は細くなっているため、ネジ穴が傷んでいない限り、そのままマウント可能です。

●元のビスが付属ビスより細い場合、ボディ材によっては下穴を広げる必要があります。元のビスが付属ビスより短い場合、下穴が深さ25mmに満たない可能性があり、下穴を深くする必要があります。上記2点において無理をするとビス折れ等を招きギターに重大なダメージを与えますので御注意下さい。

●元のビス穴がトレモロ使用等により、大きく広がってしまっている場合、そのまま取り付けると本来の性能を発揮できない事があります。その際はいちど木部を埋めて、穴を空け直す作業が必要になります。

●付属のフェルトパッチはユニットとボディの接触音を低減し、ボディのダメージを防ぐためのものです。また、適度な柔軟性によりノンフローティング時のユニットを安定させる効果もあります。基本的には付けての使用をお勧めします。本体裏側、右図の位置に貼付けて下さい。2枚は予備です。

使用上の注意

●トレモロアームは差し込み後1～7回転させ、好みの高さで使用して下さい。ネジ込まないとブリッジアースはアームに接続されません。アームはユニット内のナイロンスリーブで主に支えられるため、最後までアームをネジ込む必要はありません。新品時は多少ナイロンスリーブがきつめになっています。使うにしたがってなじんできますので、必要に応じてユニット後部の調整ビスでトルクをコントロールして下さい。

●ノンロックトレモロにおいて、チューニングの狂いを少なくするために重要なのは、ヘッド部ナット等を含めたギター全体のバランスがとれた調整です。高精度なトレモロユニットを生かすためにも、リペアマンに調整を依頼される事をお勧めします。

ESP®
発売元：株式会社イー・エス・ピー　〒171-0033東京都豊島区高田2-10-11　TEL 03-3982-1036
URL >>> http://www.espguitars.co.jp　E-mail >>> info@espguitars.co.jp